

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和5年度 第3回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和5年11月28日(火) 午後2時00分開会 午後3時30分閉会
開 催 場 所	東町公民館 大会議室
議 長 氏 名	齋木 茂
出席委員(者)氏名	富井 弘 安藤龍嗣 佐藤清美 齋木 茂 根岸 桜 長澤健次 西村めぐみ 齋藤勝久 村野裕子 幸森康夫 田辺暁己 小関京子
欠席委員(者)氏名	砂田 一 吉野 勝 白木賢信
説明者の職氏名	片寄社会教育課副主幹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) 1 開 会 2 議長あいさつ 3 協議事項 (1) 地区センター移行後の公民館の役割について 4 報告事項 (1) 各委員からの活動報告 (2) 教育部社会教育担当課からの報告 5 その他 ・次回会議の日程について 第4回 2月実施予定 6 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	浅見教育部長、佐藤教育部次長、浅川社会教育課長、 澤田博物館長、平岡図書館長、 奥村社会教育課主幹、片寄社会教育課副主幹、長谷川社会教育課主任、 大久保社会教育指導員、浅見社会教育指導員

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 1 協議事項

(1) 地区センター移行後の公民館の役割について 事務局 片寄副主幹より説明

#### 2 報告事項

(1) 各委員からの活動報告

(2) 教育部社会教育担当課からの報告

##### ①社会教育課

浅川社会教育課長

##### (i) 報告事項

- ・ 第28回いるま生涯学習フェスティバル
- ・ 入間市民混声合唱団第35回定期演奏会
- ・ 入間市民吹奏楽団 Letter Concert vol.3
- ・ 第24回入間市美術協会 小品展 (絵画・彫刻)

##### (ii) 配付資料

- ・ 社協情報第89号
- ・ 社協連合報第93号

##### ②博物館

澤田博物館長

##### (i) 報告事項

- ・ 開館30周年記念「むかしのくらしと道具展」
- ・ 日光さる軍団 猿まわし公演 (指定管理者自主事業)

##### ③図書館

平岡図書館長

##### (i) 報告事項

- ・ 冬のおたのしみ会

##### (ii) 配付資料

- ・ 図書館だより 令和5年10月号

#### 3 その他

- ・ 次回会議の日程について  
第4回 2月実施予定

会 議 録 ( 3 )

発言者	発 言 内 容
齋木議長	協議事項(1)地区センター移行後の公民館の役割について、事務局より説明を願う。
片寄副主幹	前回会議において、各公民館事業計画等から見た現状と課題について協議いただいた。資料はその時のグループ討議での意見をまとめたものである。老人や子供たちの居場所としての意義もあるが、講座の参加者に高齢者が多く、内容も趣味的なものが多い、公民館の何が変わったかわからないなど広報活動が不足している等の課題についてご指摘いただいた。今回は、公民館を充実、発展させていくための具体的な方策について協議願う。今回の意見を事務局でまとめ、第4回の会議で最終的なまとめとする予定である。
齋木議長	何か質問はあるか。よろしいか。
片寄副主幹	では、グループ協議に移る。協議について事務局から説明を願う。
片寄副主幹	A～Cの3班で協議をお願いする。吉野委員が欠席のため、長澤委員にBに移動いただき、発表を田辺委員をお願いする。協議時間は30分で、その後、協議内容を2、3分で発表をお願いする。
齋木議長	それでは指定されたグループに入り協議をお願いする。
齋木議長	～グループ協議～
齋木議長	～グループ協議終了～
齋木議長	各グループで協議した内容を2、3分で簡単に発表をお願いする。
富井委員	Aグループからお願いする。
富井委員	公民館が小学校の頃から馴染みの場となるよう、こども食堂や不登校の子の居場所づくりなど、子どもと公民館をつなぐにはどうしたらよいかとの観点で協議した。その中で、子どもたちに対して、公民館によって受け入れなどのルールが異なっているので、早めに是正すべきとの意見があった。また、現在、対応の中心となっている館長とは別に、学校や地域の人材などを結ぶコーディネーターとなる人材の育成ができるとよい。子どもたちが集まるとして、たまり場と居場所の違いが話題となったが、身近な大人などがその子たちに関わりを持って注意をしていくことも一つの社会教育である、といった意見が出た。以上である。
齋木議長	次にBグループに発表をお願いする。
田辺委員	広報の在り方について、紙面だけでなく口頭でのやり取りも大事である。次に、平日の昼間の時間帯は働いている人や学生には公民館の活用が難しい。土曜日や日曜日の活用を具体的に考えるべきではないか。そのためには年代別にどんなことを考え、どんな活動を望んでいるか知ることから始めたらどうか。また、大学生、高校生が何に興味を持っているかを知ったうえでリーダーの育成を図る。例えば、一部で話題となった「入間の乱」を商店などに協力を依頼し市内全体で協力して取り組むことなど考えられる。活動には、市民の中にリーダーが必要であり、そのためのきっかけづくりを行う必要がある。元生徒会長などリーダーシップのある人に声をかけたり、若者によるプレゼンテーションの場を設けることや適切な職員の配置や人材育成も大事である、などの意見があった。以上である。
齋木議長	次にCグループに発表をお願いする。

発言者	発言内容
根岸委員	<p>まず、地区センターと公民館の違いが不明瞭である。また、土日の活動に制限などを感じる。公民館は貸館以外に、地域からの様々な相談ができるのが本来の目的であるなら、地域との関係性を考えて変えていく必要があるのではないか。例えば、公民館から何でも該当する団体の役員にお願いするのではなく、もっと進んでやってくれるボランティアを募集するとか、地域と一緒にやる楽しみのある活動を考えることがあってよい。地域と公民館で話し合っ、地域でどんなことをしたいか一緒に考える場をつくることで、地域とのつながりが進むのではないか。以上である。</p>
齋木議長	<p>各グループからの発表について、何か意見、質問等はあるか。</p>
村野委員	<p>私は、金曜日に中学生以上の若者が来る場所をやっていて、毎週25人から30人くらいの中学生、高校生が参加している。彼らが参加する理由は、参加の理由を問われないことが一番の理由と言っている。好き勝手に過ごして、その場所が大事になると勝手にリーダーになっていく姿が見られ、この場所を守りたいから、ごみをそのままにしたらだめだとか、これは必ずしようとか、言うようになる。公民館、地区センターをみんなが好きになるような事業ができたらと思う。</p>
齋木議長	<p>今後、いかに若い人を公民館事業に取り込んでいくかは必要と思う。他にないか。なければ、協議事項を終わりにする。</p>
村野委員	<p>続いて、次第4の報告事項に移る。各委員からの活動報告について、報告する方は挙手をお願いする。報告は2分以内でまとめてお願いしたい。</p>
齋木議長	<p>11月24日金曜日に青少年活動センターでこども基本法の勉強会を行った。50名弱の参加者があり、市職員や学校関係者の方も来ていただいた。日本大学の末富教授を講師として呼び出した。12月3日いるま生涯学習フェスティバルで11時から12時半まで同じように、講師はいないが、子どもの権利についてみんなで話そうという会を行う。ぜひ参加いただきたい。1月21日日曜日午後1時から、こども食堂ネットワークいるまのフォーラムを行う。健康福祉センターの3階の大きい部屋で行うが、今、話に出ていたような地域と行政がつながる場になってくれたらうれしい。学校関係者の方、地区センターの方、分館の方に来ていただいて、近くにこんな団体があるということを知っていただき、一緒に何か活動ができたらよいと思う。</p>
長澤委員	<p>他にあるか。</p>
齋木議長	<p>博物館ボランティアをしているが、毎年やっている昔のくらしと道具展を来年の1月6日から2月14日まで行う。機織り体験とか、お手玉作り、紙芝居、レコード鑑賞など、ボランティア会として手伝う。12月16日に博物館の玄関先に木を立てて繭玉を飾る。11月21日に入間市の俳句連盟で俳句会を行った。大勢来ていただいたが、瑞穂の俳句会の方も来てくださり、交流できて有意義な会となった。</p>
齋藤委員	<p>他にあるか。</p>
齋藤委員	<p>ふじさわ未来ネットでは、食育を考えた循環社会についての事業を地域の子ども達と一緒にやっている。半年ごとに参加する中学生、高校生が替わるが、今4期目に入っている。上藤沢中学校と藤沢中学校からだいたい5、6名ずつ来ているが、今回、日々輝学園高校から4名参加し、14、5名で活動を行う。冬は畑作業も中々できないが、コミュニティの場として、火を焚きながらおしゃべりしたり、畑でと</p>

発言者	発言内容
齋木議長 西村委員	<p>れたものをお手伝いしてもらって食べながら活動し、好評である。また、子どもたちが中心になって一年間進めてきた夢プロジェクトの成果発表会を2月18日曜日に市長、教育長を招いて藤沢地区センターで行う。ぜひ見ていただきたい。</p> <p>他にあるか。</p> <p>小学生の夏休みの自由研究について、図書館の方が宮寺配本所で図書を使ってサポートしていただいた。利用者はとても喜んでいて。また、宮寺小学校にも派遣してくださり、図書室で小学生が何人かサポートしていただいた。もっと大勢の小学生に利用してもらえたらと思う。また、図書は1回に10冊まで借りられる。こどもの本は厚いので一抱え程になるが、孫は時間があると手に取って試している。家庭や学校で本が身近にあるという環境は大切なことであると思った。読み聞かせのボランティアであるが、今、インフルエンザが流行して学級閉鎖が続いており、様子を見ながらやっている。子どもたちは楽しみに待っていてくれている。</p>
齋木議長	<p>他にあるか。</p> <p>なければ、私からだが、今月15日に根岸委員と入間地区の社会教育委員部会に出席した。以上である。では次に教育部社会教育担当各課から報告を願う。</p>
浅川課長	<p>12月3日にいるま生涯学習フェスティバルを入間市産業文化センターで4年ぶりに開催する。ぜひ参加いただきたい。また、バウハザールで市民混声合唱団、市民吹奏楽団のイベントがある。音響の良いところなのでぜひお聞きいただきたい。美術協会で小品展があるので見ていただきたい。また、配布した資料をお読みいただきたい。</p>
澤田館長	<p>先ほど長澤委員からもあったように、博物館開館30周年記念むかしのくらしと道具展を行う。令和6年11月7日に博物館が30歳になる。この展示は、今回27回目を迎え、1月6日から2月14日まで開催するが、この期間に、市内11校の小学校3年生全員が博物館に来て郷土学習の授業を通した博学連携事業を行う。市内だけでなく市外からも希望のある学校に来ていただく予定である。今回はコロナ前の事業にもどり、ボランティアの活動、体験コーナーなどを行う。ぜひお越しいただきたい。また、指定管理者自主事業として、1月28日に今年で3回目になる日光さる軍団の猿まわし公演を実施する。博物館にぜひお越しいただきたい。</p>
平岡館長	<p>12月に子ども向けの「冬のお楽しみ会」を実施する。本館、各分館において、記載の日程のように開催する。このような会を通して子どもたちにより図書館に親しんでもらい、本に接する機会を多く持ってもらえるよう楽しい行事としたい。また、配布資料として図書館だより令和5年10月号をお配りしたのでご一読願う。</p>
齋木議長	<p>何か質問はあるか。</p> <p>なければ、これをもって報告を終了する。</p> <p>次回の会議についてだが、会場をまた公民館とし、協議の参考にしたいと思うがどうか。</p> <p>意見などが無いようなので、次回会場を公民館とする。会場選定は事務局に任せる。</p> <p>以上で、議長の任を解かせていただく。ご協力に感謝する。</p> <p style="text-align: right;">以下、余白</p>

発言者	発言内容

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 6 年 1 月 15 日

議長の署名

齋 木 茂